

釧路川「水害タイムライン検討会」いよいよ議論開始

釧路川外
減災対策協議会

釧路川で水害発生のおそれがある際に、早い段階から関係機関が連携して地域住民および防災対応者の安全確保を図るための防災行動計画作成に向けた議論が始まりました。

- ・実施日 平成30年2月2日（金） 約70名の参加
- ・参加機関 標茶町教育委員会、標茶消防署、標茶消防団、標茶町土木建設業協会、標茶町自治会連合会、弟子屈警察署、陸上自衛隊釧路駐屯地、釧路総合振興局、弟子屈町、標茶町、釧路地方气象台、釧路開発建設部、標茶町町内会のみなさま

2回目となる今回は、関係機関や標茶町町内会の方々とグループで議論を行い、平成28年8月大雨時のそれぞれの行動を振り返りながら防災行動の課題を抽出しました。



(第1部) 特別講演 (松尾氏) の様子



(第2部) 検討会ワークショップの様子

検討会のまとめ

- ・議論では「人手不足」に関することが共通のテーマであった。
- ・洪水被害は最終形だけではなく、どのように浸水していくのか等のプロセスを理解することが重要。
- ・H28大雨時に、何が起こり→何を→改善すべきことは何か、を振り返ることが重要。
- ・他グループの意見を聴くことが重要 (他の機関の行動や課題を共有) など